

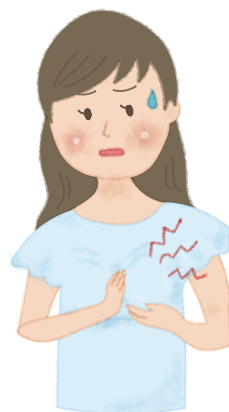


胸のしこりや痛み もし自分の乳房に 「しこり」を見つけたら

健診センター

所長 瀧

鈴木



最近、乳がんの自己検診が広く行われるようになってきました。

たまたま触った時、乳房にしこりを見つけて医療機関を受診される方も少なくありません。乳房にしこりがあれば、もしかしら乳がんかも…とごなたも考えることでしょう。

実際には乳房のしこりは全てが「がん」というわけではなく、良性のものの方が多のですが、がんか良性かは病院で検査をしなければわかりません。乳がんは、全体の5年生存率は9割で、早期のうち治療すれば治る病気です。早期発見・早期治療のためには、しこりをみつけたらすぐに受診しましょう。

乳房にしこりを作る病気には、以下のものがあります。

乳がん(悪性)

しこりは、乳房の中に硬い消しゴムか、でこぼこした小石が埋まっているような感触で、初期にはほとんど痛みはありません。また、体調不良や食欲不振といった変化はあまりみられません。

胸のしこり以外に以下のような症状が出る場合もあります。

- ・わきの下にしこりがある
- ・乳房にひきつれ、くぼみがある
- ・乳頭の異常(湿疹・ただれ・分泌物がある)
- ・乳房の皮膚に異常(発疹・はれただれ)がある
- ・乳房の膨大感(初赤・痛みを伴う)がある

乳腺症(良性)

乳房のしこりを見つけて受診する人の中で、最も多い病気が乳腺症です。30代後半から閉経前後の女性に多く、両方の乳房にしこりが見られることも多く、乳房の痛みがみられます。月経の前に症状が強くなり、月経が終わると症状が軽快します。

乳腺症の変化が強い場合は、将来の乳がん発症リスクも懸念して、病院で経過観察をされる場合もあります。

乳腺線維腺腫(良性)

乳腺の良性の腫瘍(できもの)の中で一番多くみられるもので、若い女性に多く発症しますが、中年以降でもみられます。

しこりはおおむね、触ると弾力があり、表面はつるつるしていて、「ロロロ」とよく動きます。基本的に切除する必要はありませんが、大きくなった場合には摘出手術を行うこともあります。

乳腺炎(良性)

授乳中の胸のしこりは、乳腺炎の可能性があります。乳腺炎は、授乳中のトラブルとしてよくみられるものです。症状としては乳房のしこりや痛みに加え、発熱、乳房の赤みや熱感などがみられます。

以上、乳房にしこりを作る主な病気と、典型的な症状について述べました。しかし実際の症状は、あまりはつきりしない場合が多く、例外もあり、正しい診断には病院での検査が必要です。

乳腺のしこりの診察に最も適した診療科は乳腺外科で、市立砺波総合病院では乳腺センター(外科)になります。

ご自分が気になるしこりが、乳腺以外の病気だったり、正常組織だったりする場合もありますので、まずは、お近くの内科、外科、産婦人科、皮膚科などで相談してみられるのが良いでしょう。

おかしいと思ったら、なるべく早く医療機関を受診してください。

